

Casa Watanabe 建設日誌

◆事前のあれこれ

(1) 勝沼ワイン村プロジェクトへの参加 2017年4月



東夢ワイナリーが中心になり、周辺に10件のマイクロワイナリーを集めた集合施設を作るプロジェクトの話を知る。当時大和葡萄酒に勤めていたが、作業中の事故で右足踵を骨折し、連続した立ち作業が困難になっていた私も参加することに決めた。

(当初聞いた構想図。約3,000万円でこの1区画ができるとのこと。そんな立派な建物になるの?と疑問だったが、案の定予算オーバーで簡略化。さらに費用増加。)



参加順に各社の区画決め。

私は北側の道路に面するグループ(建物は南向きになる)の中央付近を選んだ。が測量してみると当初プラン通りの配置に無理があることがわかる。

あれこれあって配置が微妙にずれてくる。

私が選んだのはここ。

ここに日川水制(右岸13番)があります。

(2) 日川水制のトラブル? 2018年5月



文化財指定されている日川水制(右岸13番)の調査を実施しなければ開発着手できないとの指摘がある。また何か保護すべき遺構が出てくると工事も停止。

これがなんと上記で選んだ私の区画がちょうどその延長。何か発掘された場合、私の区画だけ工事差し止めになる危険あり?

まだ10件分埋まっていないため、別区画に移転するか、床をガラス張りにしたワイナリーとしゃれ込むかなど考えていたが、幸い何も出ず工事可能となった。

◆ワイン村開発工事

2018.8～2019.1（その後11月までやり直し工事と書類再提出の繰り返し）



畑解体後の様子。この電柱の右が私のワイナリーが建つ区画。
本格的な整地が始まると右写真のようになる。



区画完成。

この後、ワイン村全域の開発手続きのトラブルの連続ではほぼ1年間工事が停止。

西側グループ3件は都市計画法第37条に基づき並行建設でき、2019年の仕込みに間に合うが、北4件は2019年12月まで更地のままであった。



実際の完成予想図はこんな感じ。

木造の立派な外見からありきたりのスチール板の外見へ。まあ、こんなものでしょう。

この先、CasaWatanabe 着工までは約1年も待たされるのだが、そこは別冊「勝沼ワイン村創業までの流れ（CasaWatanabe 版）をご参照ください。

◆Casa Watanabe 建設

2019.12.24 着工



事前の連絡会議では着工は2020年1月から、との報告だったのですが、施工チームの前の仕事が予定より早く終わり、年内に着工できました。

私の区画担当の「渡辺鉄工所」は、建物を設計した株式会社アルコ・リファイン甲府の現場監督の吉富さんの仕事を請け負うことが多いらしいです。鉄骨作業が本業なのですが、基礎の土木を依頼されることも多いとのこと。

2019.12.26

ちょっと覗いたら、何だかお隣に比べて整地が荒いような。。？

鉄骨の組み立ては自身アリと言っていたが、基礎工事はどうなのか？はて？

と心配しましたが、後で確認すると地面の転圧はかなり念入りにやっていたとの証言もあり、余計な見かけには手間をかけない主義だったことが確認できました。安心。

2019.12.27

私的地鎮祭（のようなもの）。知り合いの不思議能力者に確認して頂くと、この区画にはどうも良くない気が溜まっていたらしいのです。日川水制の延長というのが悪い気が溜まった原因のよう？（また日川水制か！？）お祓いして頂くと何だか明るく感じるようになるから不思議。



年内に捨てコン。次は来年。



2020.1.6 ~10



2020.1.14 ~18



新年は6日から作業開始。
10日には鉄骨を立てる基部の木枠ができる。

並行して隣の日和区画の基礎工事も実施。

2020.1.20 ~25



20日、基礎に碎石を積み転圧。翌21日には鉄骨を搬入して作業用の足場を組む。



ここに鉄骨を取り付け、更にコンクリートを流して固める。

21日から鉄骨組み上げ。この作業は早い。その後細かいひずみを修正しながらネジを緩まないように締め上げ、筋交いを入れていく。



2020.1.28 甲州 雪



こうなると当然作業停止。
この前に屋根がついて欲しかったが、仕方なし。(まあ、このくらいの雪ならばすぐに溶けるはず)

2020.1.30



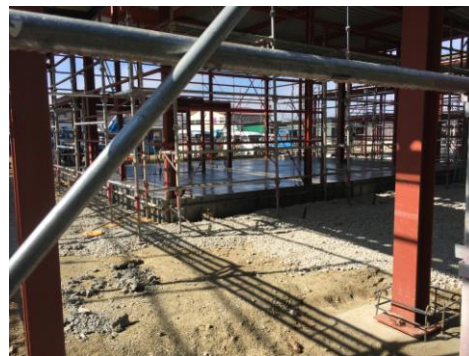
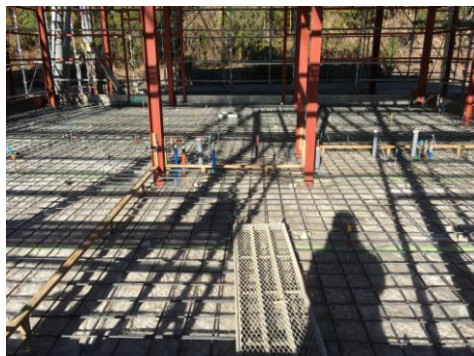
と心配していたら早速屋根がついた。
ここまで来ると少々悪天候なら作業可能。

2020.2.2



屋根の上はこんな感じ。内から見ればこんな感じ。

2020.2.10～17

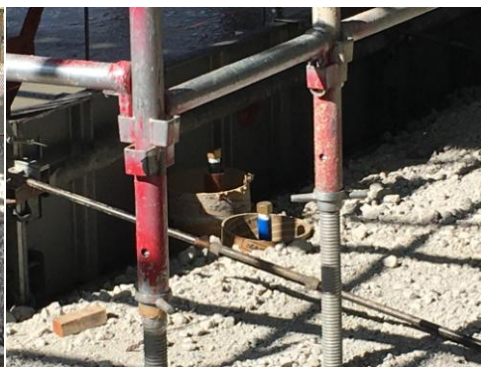


建物の床は重量物を扱うために厚いコンクリート。通常より多い鉄骨補強。
その前に給排水の管の仕込み。

2.17 無事にコンクリートを流し込みました。

【ちょっと脱線】

とは言え、全てが順調というわけでもなく。。。



場内排水口が要求と違う？時々不思議なことも起きますので確認が重要です。
排水口にはその後も紆余曲折あり。排水の高低差の設計は意外と大変です。

2020.2.27



暫くお隣の作業にかかり、あまり進んでいないか、と思っていたところ、壁下部のコンクリート(耐水性のある安価な壁面ということで、コンクリートブロックを使用)積み上げと外壁取り付け同時進行。他ではブロック積み上げ完了後に外壁作業でしたが、これなら早いかな？

この時点でワイン村全景を確認すると、こんな感じです。



この白っぽい外壁が当社です。

2020.3.3



外壁張り終わり。

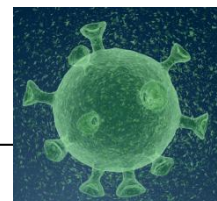
1列だけこげ茶を入れました。

(2列の方が良かったかな？まだ完成ではないからこんな見え方でちょうど良いか？)

2020.3.6

万事順調と思っていたら。。。新型コロナウイルス(学術名:Covid-19、俗称:武漢ウィルス)の影響が。中国産の部品が入手できず、各メーカーの製品流通が滞ってきました。早めに抑えた醸造所大型エアコン、システムキッチンは大丈夫と安心していたら、トイレ、シャワー、食洗器が確保できず。建築完了検査が受けられないかもしれない、と情報が流れてきました。(3.9~12の間、トイレ製造メーカーのLIXILのお客様窓口)に電話確認していましたが、どうしても埒が明かない。かなり大変なようでした。)

ワイン村売店の来客も減っているようで、先が思いやられます。。。)



2020.3.12



足場が外れました。醸造所内では大型エアコンも設置。順調に進んでいます!(トイレ以外)

全景はこんな感じ。こう見ると前回と似たようなものですが、足場がなくなりました。



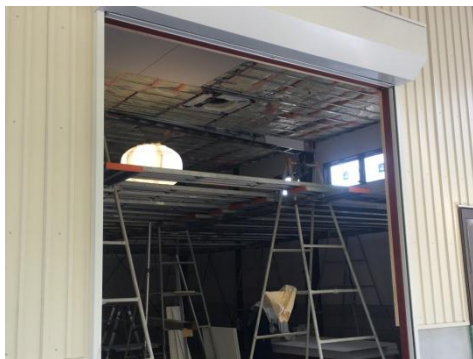
この白っぽい外壁です。

2020.3.15



内装はこんな感じ。
鉄骨の間にアルミのフレームを立ててそれに石膏ボードを打ち込んでいきます。

2020.3.15～24



左：天井張り。写真では分かり難いのですが、高所作業になりますので、素人にはできません。

右：事務室内装もかなりそれらしくなってきました。

2020.3.25



キッチン据付。クリナップ社の責任施工となります。コンクリートブロックや鉄骨がむき出しで驚いていましたが、その場で加工しながら実に巧みに設置していきます。(ちなみに食洗器はまだ未入荷)

クリナップにしたのは、一般家庭用でも「なんとなくプロ用」に見えそうなオールステンレスモデルが気に入ったからです。

CasaWatanabe のコンセプトとしては、「プロの料理」ではなく、「ワイン好きのおじさんが休日に自分でおつまみを作って飲んで食べる」ですので、あくまでの一般家庭用にこだわります。



一方 25 日の醸造所内。

足場も撤去して、こちらもかなり完成形が見えてきました。

2020.4.1～4

このど真ん中
が通風孔だ！

このコンクリート
打ちっぱなし
風で完成だ！



事務室の壁紙やフロアタイルを貼って完成も近い、と思えば。。。なんだ？この通風孔の位置？

「ここには商品棚を置くから穴はできるだけ上」と依頼したはずだが？

やり直しです。

ちなみに、壁面下部のグレー部分(コンクリートブロックの上にモルタルを塗った状態)はこれで完成です。

おいおい、なんだそのセンス？(ケアフィットを見て来てください。ここに平気で水栓を付けちゃいます。もちろん濡れたら沁みができます。東夢 高野会長と施工会社の株式会社 アルコ・リファイン甲府で作ったワイン村建屋基本プランなのですが、昭和な工場の片隅にある、休憩時間に作業者がやってきてお茶を飲むようなスペースの感覚ですね。。。一応ここ、経営者の執務室でもあるのですが。。。 なお、このフロアタイルはちょっと増額して入れ替えさせたものです。)

2020.4.6～11

板は自分で貼り
付けます。

通風孔の位置も
修正されました。



で、そのセンスが許せない私としては、この部分に板を張り付けたり、珪藻土を塗ったりすることにしました。そのくらいはDIYです。

(ちなみに同じくこのセンスが許せないニッカワワイナリーは、全面天然木で覆う豪華プランです。是非見学に行ってください。)

少しずつ貼り足して、4月25日完成。

2020.4.11～12



壁塗り、床塗り。

塗らなくても良いのですが、やはり防塵&一応の撥水効果を期待すれば塗った方が衛生的です。(今後の食品業界では重要になると想定されるHACCPとしても推奨されるのです。)

これも DIY です。床は毎年の作業で結構傷もつくので、毎年か隔年で補修が必要です。そんな作業があることを前提にすれば、自分でやって塗料のストックが残っている方が良いと考えています。

この派手な色もあれこれありまして。

本当はラベルヴィーニュで使用しているグレーっぽい薄緑くらいがよかったのですが、某塗料店が素人でも塗りやすいと推奨してくれた塗料のラインナップにそんな色はないのです。鉄骨のこげ茶色と組み合わせると。。。？緑系が強いとどうもピンとこない。

ちなみに、ドメーヌジンはライトグリーン採用、ニッカワイナリーがベージュ採用、ヴィンヤードキクシマがアイボリー採用と決まってきたので、では別の色にしようかと。そんなわけで当社は「スパニッシュブラウン」。やって見たらこれはこれで気に入りました。いつかワイナリーギャラリーやってみようかな？

(決して赤ワインこぼしても目立たないから、掃除をサボろうとして選んだ色ではありません！)



4月23日

塗装完了(但し1回塗り。完了検査前にもう1回塗ります。)の後、写真写りの良さそうな樽、タンクを並べて記念撮影。

まだ空ですよ！

2020.4.11～13



壁には珪藻土を塗りました。

並行して、4月に入って無事入荷したトイレ、食洗器も含めて設備担当の方が取り付け。内装も順次進みます。(中国の工場再稼働は本当でした。)

食洗器もこの通り。なお、この程度の規模に食洗器はちょっとオーバースペックですが、理由があります。飲食店免許には、食材洗浄用と食器洗い用にシンクが別に必要です。2槽シンクか食洗器が必須です。私は食洗器にしました。



2020.4.26～28



扉の保護用段ボールも外れて格子の飾りも設置。が、折角店の入り口として立派な扉を付けたのですが、外壁もコンクリート打ちっぱなし風のモルタル仕上げでどうもしっくりこない。何だか扉が浮いてますね？
外壁も木材か、漆喰か、等考えましたが扉周辺はタイルを張ることにしました。



こんな感じに貼って行きます。



写真ではよく分かりませんね。是非現物をご確認下さい。

裏はこんな感じ。



2020.5.7



外壁タイル間を漆喰で塗装

外壁に使うと汚れが目立つので賛否ある漆喰ですが、床同様、自分でやれば気になれば塗りなおしと考え、前面だけに採用しました。

2020.4 末～5.20

完了検査まで設備の搬入ができません。

その間、検査官に文句を言われぬ程度の小規模造作(神棚作成、ピクチャーレール取り付け)実施。 机・イス・本棚・テーブル・ポスト等々も製品を調査し、完了検査後の21日以降届くように発注します。

2020.5.20

やっと完了検査。

建築確認申請と一致したものができているか、建築基準法や消防法違反、手抜き工事が無いか確認するもの、とっていたら、敷地の長さを測定するなど、開発完了検査の延長のような確認もしています。(ので、敷地にモノを置くな！など煩い。)

2020.5.21



業者から醸造設備搬入！

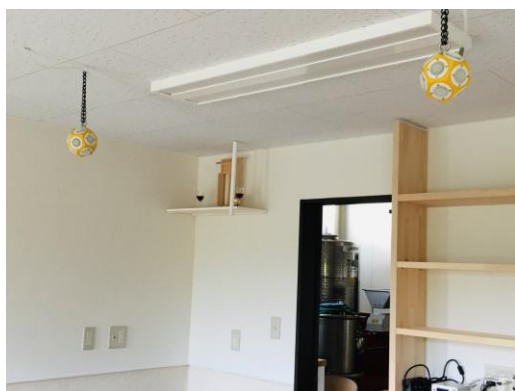
やっと！やっと！ここまで！長かった！



22,23 日は、一昨年前に一旦東夢に搬入しながら、置き場所が無く畑横に追い出されて汚れ放題になっていたタンク・樽類を洗浄して搬入し直し。



2020.5.25～31



本来お酒の製造免許は、東京国税局から検査官が来場して確認します。醸造できる設備が申告通りに揃っているか現物を確認し、醸造責任者のスキルは大丈夫なのか口頭試問で確認して、その後で認可されます。

しかし今年はコロナ禍により東京からの来場は困難。よって書類審査のみとなり、設備類は1件1件写真撮影して資料に纏めて送る、という段取りです。

25日にその資料を提出後、事務所整備。
神棚設置、本棚作成、スピーカー取り付け等。

2020.6.2～3



ウッドデッキ作成。

背面の傾斜した道路の高い側に浄化槽が設置され、排水の逆流を避けるには建物床を高くすることになりました。

このため、入口は地面から20cmほど高くなったのです。

これは試飲後の酔っ払いには危なすぎる。。。。

とのことで、10cm程度の2段にしてウッドデッキを作成しました。

2020.6.13



キッチン前にスウィングドア設置。

飲食店免許も取得しようとするのであれこれ追加設備も必要になり、厨房を他のエリアから区切る仕掛けが必要になります。

これで「厨房」設備も一式整いました。

6.15には保健所の担当者が来場して、食品製造工場(=醸造所)と飲食店(=試飲スペース)の確認をして頂くこととなります。

2020.6.16～23



カウンター工事

客席用に天然木のカウンターを制作します。厚い板を1枚の腰高の壁で支えるものになりますので、真面目に強度設計が必要です。ここはさすがに専門業者に依頼します。

(と思ったら、両端を袖壁で補強するプランを提案してきました。難しいものは難しいようです。)

塗装・壁紙貼り含めて1週間くらいかかります。



カウンター天然木のあれこれ。

当初、施工会社はどうもやりたがらない。大変、面倒、後で反った割れたとクレームの元、等々あるようです。

が、ワイン村全7棟ほぼ完成し、やっと真面目に考える気になったのか、木材センターに見に行くことに。

しかし、天然木は1枚買取。始め提案されたものはめっちゃめっちゃ立派な杉材でしたが、面積的にはこの5倍はありそう。そんなもの1枚買い取ってどうするの！で、初めから小さいもの探せばあるじゃないですか！まあ、予定より10cm短かったのですが、そのくらい設計変更で十分！確かにこんなところを面倒がっていたら天然木は使えないです。

2020.6.24～25



並行して、やっと庇が付き
ました！これで雨の日も出
入りが楽になります。

ちょっと目立ちませんが、
丸看板も取り付けました。



これで1次工事完了！
(厳密には電気工事が少し残ってますけど)

#番外



2020.6.6 ここで初めて作った料理

今まで一緒に頑張って（耐えて）きた
ケアフィットファームワイナリー初代
責任者鈴木氏が故郷に帰ることになり
送別会。

鶏のアラビアータ風とサラダです。

とりあえずやって見るとあれが足り
ないこれが無い、と確認できます。



2020.6.22 家族と食事会

カウンターが使える状態になった記
念に家族呼んで食事会。たまにはこんな
こともします。

スパゲッティカルボナーラとサラダ

